

■コメント

1. 手足口病

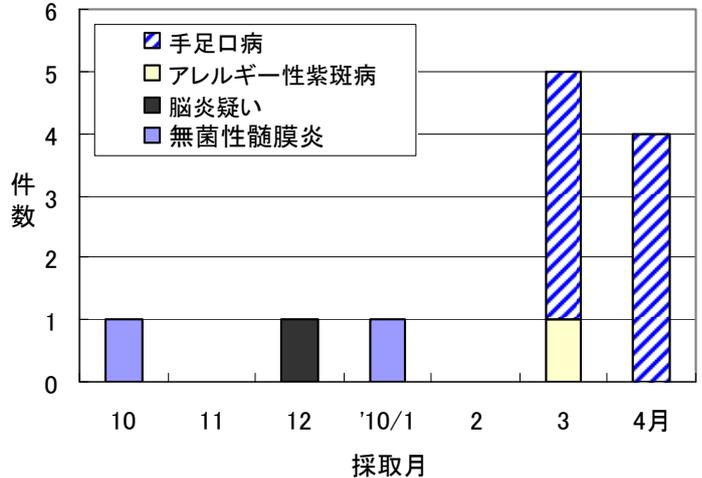
定点当たり2.00人となりましたが、例年同時期と比べて多い状態が続いており注意が必要です。

手足口病は、手のひら、足の裏、口の中の粘膜などに水疱性の発しんができるウイルス性の疾患で、コクサッキーウイルスA16型やエンテロウイルス71型などのエンテロウイルスによっておこり、幼児を中心に主に夏に流行がみられる疾患です。

エンテロウイルス71型による手足口病流行時には、無菌性髄膜炎や脳炎など中枢神経合併症の頻度が高くなることもあり、特に注意が必要です。

なお、広島市衛生研究所の検査では、2009年10月以降、手足口病8人、無菌性髄膜炎2人、脳炎疑い1人、アレルギー性紫斑病1人からエンテロウイルス71型が分離されています(右図)。

診断名別エンテロウイルス71型検出状況



2010年第18週(5月3日～5月9日)は、ゴールデンウィーク期間中のため、医療機関の休診の影響で、全般に報告数が少なくなっています。
したがって、各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況(週報対象)」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均(過去5年間)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均(過去5年間)	発生記号
インフルエンザ	21	0.57	1.95		ヘルパンギーナ	3	0.13	0.07	
咽頭結膜熱	6	0.25	0.43		流行性耳下腺炎	24	1.00	0.76	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	0.50	1.58		RSウイルス感染症	-	-	-	
感染性胃腸炎	141	5.88	6.37		急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	37	1.54	1.78		流行性角結膜炎	13	1.63	0.73	
手足口病	48	2.00	0.48		細菌性髄膜炎	1	0.14	0.03	
伝染性紅斑	2	0.08	0.30		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
突発性発しん	11	0.46	0.49		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.34	
百日咳	9	0.38	0.12		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	1	87	男性(60歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

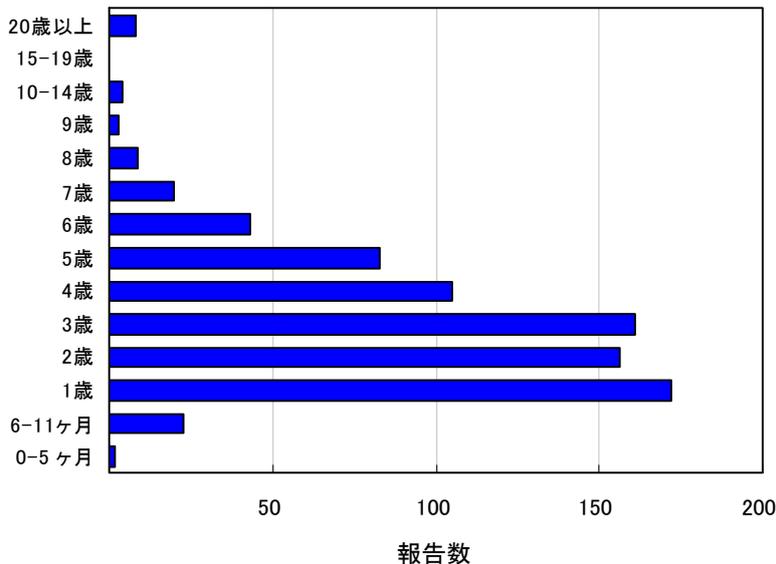
報告数	広島市	第14週	第15週	第16週	第17週	第18週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	
							11	6	16	161	32	56	7	13	8	-	43	1	-	9	-	-	3	-	
		29	6	17	178	20	96	2	11	14	2	24	3	2	10	- <td>3</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td>	3	1	-	-	-	-	-	-	
		55	2	18	177	34	118	5	19	11	2	26	1	1	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
		21	6	20	147	44	106	6	10	1	4	36	-	-	8	-	-	-	-	-	-	3	-	-	
		21	6	12	141	37	48	2	11	9	3	24	-	-	13	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
定点当り	広島市	第14週	0.30	0.25	0.67	6.71	1.33	2.33	0.29	0.54	0.33	-	1.79	0.04	-	1.13	-	-	-	-	-	-	0.43	-	-
		第15週	0.78	0.25	0.71	7.42	0.83	4.00	0.08	0.46	0.58	0.08	1.00	0.13	0.25	1.25	-	-	-	-	-	-	0.43	0.14	-
		第16週	1.49	0.08	0.75	7.38	1.42	4.92	0.21	0.79	0.46	0.08	1.08	0.04	0.13	0.63	-	-	-	-	-	-	0.29	-	-
		第17週	0.57	0.25	0.83	6.13	1.83	4.42	0.25	0.42	0.04	0.17	1.50	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	0.43	-	
		第18週	0.57	0.25	0.50	5.88	1.54	2.00	0.08	0.46	0.38	0.13	1.00	-	-	1.63	0.14	-	-	-	-	-	-	-	
全国	第16週	第16週	0.20	0.20	1.58	9.91	1.74	0.79	0.30	0.61	0.03	0.16	1.01	0.18	0.02	0.58	0.02	0.02	0.58	0.02	0.02	0.40	0.40	0.01	0.01
		第17週	0.17	0.24	1.62	9.56	1.97	0.84	0.26	0.56	0.02	0.22	1.11	0.14	0.01	0.55	0.02	0.02	0.55	0.02	0.02	0.47	0.47	0.03	0.03

■新たに判明した病原体検出状況

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	0	女	2010/03/23	咽頭拭い液	アデノウイルス5型
その他の呼吸器疾患(クループ症候群、仮性クループ)	2	男	2010/04/02	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
その他の呼吸器疾患(気管支炎)	0	女	2010/03/31	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患(気管支炎)	0	男	2010/03/25	鼻汁(拭い液)	ヒトメタニューモウイルス
その他の呼吸器疾患(気管支炎)	0	男	2010/03/29	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
川崎病(MCLS)	0	男	2010/04/04	咽頭拭い液	RSウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における手足口病の年齢階層別報告数 (2010年第1週～第18週)



手足口病は、5歳以下の乳幼児に多くみられ、0歳児を除けば年齢が低くなるほど報告数が多くなる傾向にあります。

広島市の感染症発生動向調査における過去5年間(2005年～2009年)の集計によると、5歳以下の患者が占める割合が86%となっています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2010年第18週(5月3日～5月9日)